

環境活動レポート 2026



作成：2026年8月3日

Better Normal.

基本をよりよく、暮らしをうれしく。



目次

1.事業活動の概要	3
2.対象期間・対象範囲	4
3.環境方針	4
4.環境体制の組織図	5
5.環境目標と実績	6
6.SDGs に関連する活動事例	7
7.主な環境活動	8



1. 事業活動の概要

事業所名：株式会社ムーンスター

代表取締役：井田 祥一

創 業：明治6年（1873年）10月20日

資本金：1億円

売上高：302億円（2025年6月期）

従業員：728名（2025年6月期）

業 種：子供靴、スニーカー、紳士靴、婦人靴の製造・販売

社 訓：走る者はつまずきやすく、つま立つ者は倒れやすい。

堅実なる一歩ずつを進めよ。進めたる足は堅く踏みしめよ。



創業当時の木製看板

経営理念：すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために

ホームページ：<http://www.moonstar.co.jp/>



2. 対象期間・適用範囲

対象期間：2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日（当社 第 99 期）

適用範囲：福岡県久留米市白山町 60 番地

活動範囲：靴の設計・開発及び製造

3. 環境方針

株式会社ムーンスターは“すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために”を経営理念として、全てのお客様が「笑顔」になれる靴、「しあわせ」を感じる靴をお届けできるよう全社一丸となって取り組んで参ります。

そして、環境に優しい事業活動を全員参加で取り組み、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に努めます。

1. 事業活動による環境影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境の汚染予防と継続的な改善に取り組みます。
2. 環境法令・協定及び同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 靴の開発から生産、消費、廃棄に至るすべての段階に考慮した環境負荷の低減を図っていきます。
4. 環境負荷低減型の商品作りを進めます。
5. 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。

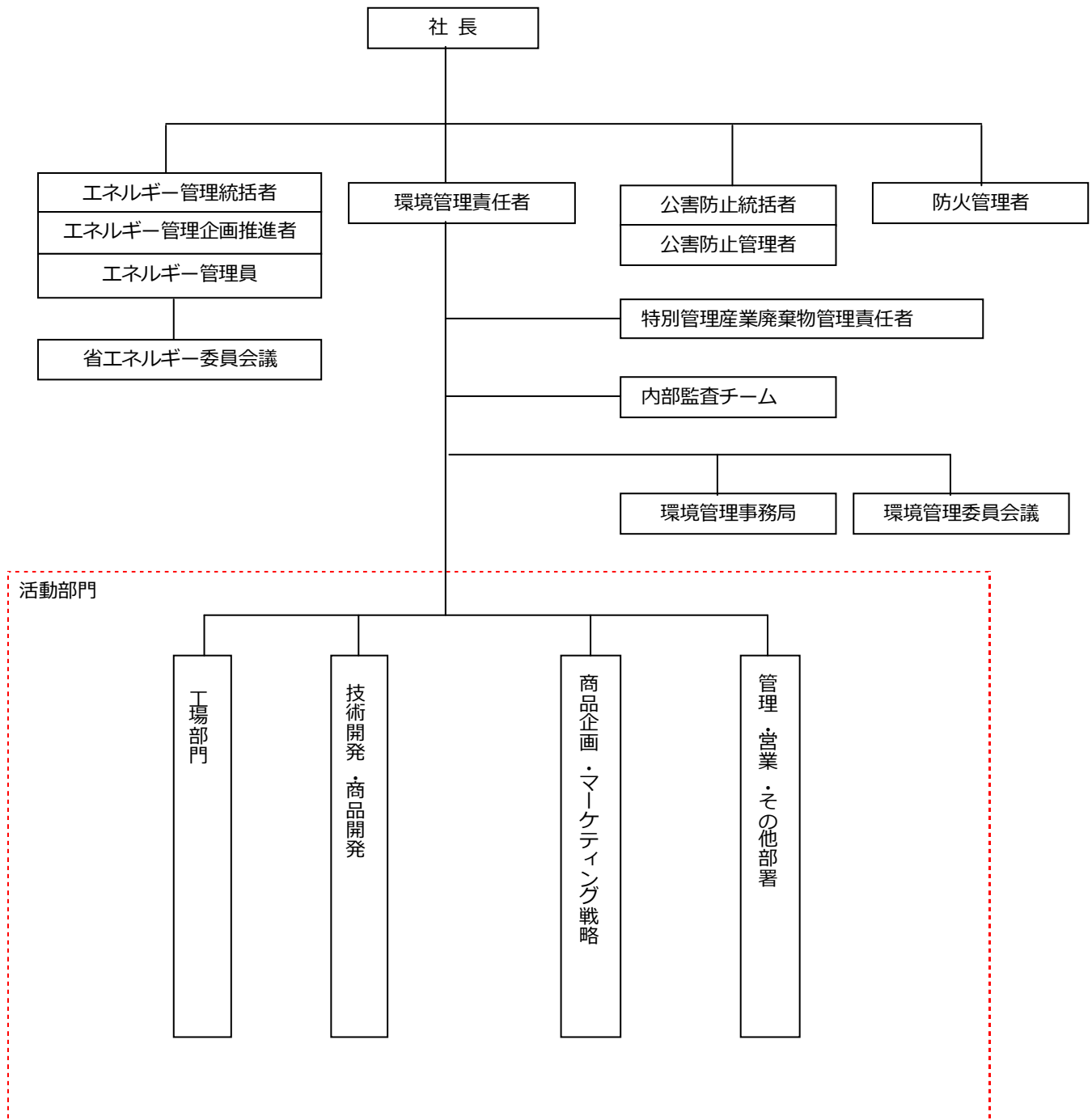
この環境方針は、社内に周知徹底するとともに一般の方々にも公開します。

令和 2 年 7 月 1 日

株式会社ムーンスター

代表取締役社長 井田 祥一

4.環境体制の組織図



5.環境目標と実績

久留米本社では、7つのグループに分かれ環境目標を設定し活動を実施しました。

下記は環境に関係の深い取り組みの目標達成状況です。

【 当社 第 99 期の取り組み目標と実績】

取り組み目標	実績	評価
産業廃棄物 98 期実績の 3%削減	4.8%の削減	○
ガス使用量を前々期比 0.5%削減	ガス 5.8%の削減	◎
環境負荷低減型の商品を 10 型以上開発	18 型を開発	○

※ 評価：◎＝目標を大幅に上回る成果があった

○＝目標を達成、順調に推移した

△＝積極的に取り組んでいるが目標達成出来ず

×＝活動が不十分で目標未達成

上記、取り組み内容すべてが目標達成いたしました。

第 100 期(2026 年 7 月～2027 年 6 月)の環境目標は、引き続き、廃棄物の削減、エネルギー使用量の削減、環境負荷低減型の商品開発、及び綿布の撥水加工を有機フッ素化合物（PFAS）から非フッ素加工への切替えに取り組みます。

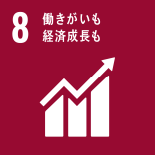
6. SDGs に関連する活動事例

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。

2030 年を達成年限とし 17 の目標と 169 のターゲットから構成されています。

ムーンスターでは、新たな活動を始めるのではなく ISO のシステムを活用して SDGs に取り組みます。

分野	活動事例	SDGs との関連
人間	当社のシューズは人の健康と福祉に貢献 製造工程における糊の水性化等、化学物質使用の削減 大気汚染の少ない天然ガスボイラーを使用	
経済	エネルギー使用量を削減し資源の有効利用に貢献する 社用車を削減しエネルギー使用量と CO2 排出量を削減する 省エネ機器の導入、蛍光灯の LED 化、昼休みの消灯 作業効率のアップによる経済成長の発展 改善提案制度、資格奨励金制度の実施、工場見学への対応等 コンプライアンスを順守した天然ゴムの購入 靴作りの手技やノウハウを継承・蓄積 製品の長寿命化、リペアシューズ 新機能シューズの開発、九州大学、岡山県立大学との共同研究 社内美化運動、花いっぱい運動、 廃棄物の発生抑制	   
環境	環境配慮素材を使用しエコな靴及び使われてこそ価値のある靴作り ライフサイクルを考慮した廃棄物の削減・ゼロエミッション推進活動 社用車をハイブリッド車への切り替えによる CO2 排出量の削減 工場排水の水質検査による水質保全 両面印刷及び裏紙の使用による資源の有効利用 不良削減による環境保護 産業廃棄物の直接埋め立て処理ゼロの実施	   
協働	くるめ地域活動への参加、協賛 持続可能な開発の為、海外工場とグローバルパートナーシップの推進	

7.主な環境活動

久留米本社では、省エネ、省資源および廃棄物の削減など持続可能な社会を作るため、地球環境保全に配慮した事業活動を進めています。

(1)環境配慮型の商品

地球環境について考え、 エコロジーな靴を作りました。

地球にも足にもやさしいシューズです。

地球環境に配慮して、500ml PETボトル1本分の素材を靴の一部に再利用し、限りある資源の有効活用に努めています。

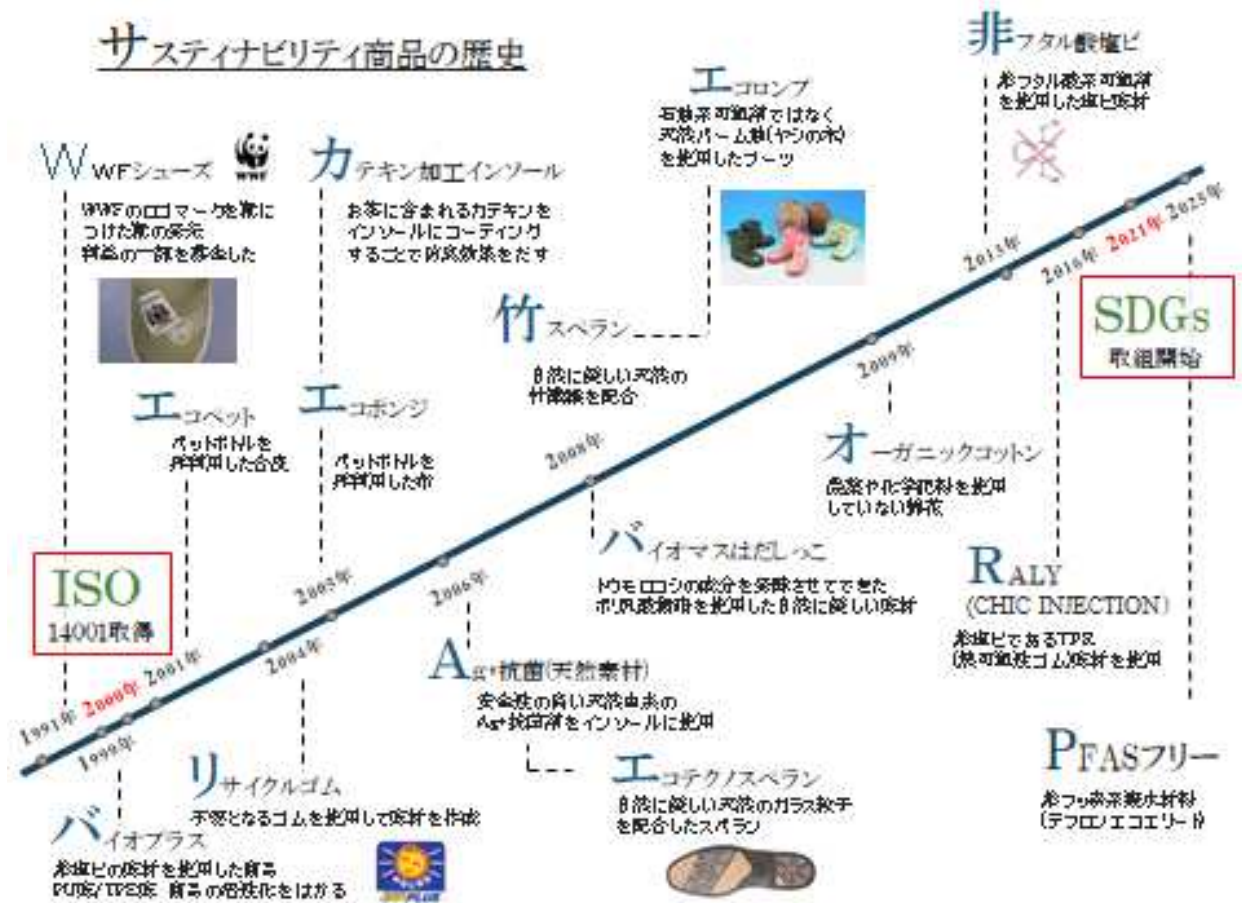
環境負荷低減型商品
(リサイクルPET素材使用)



(株)ムーンスターは、温室効果ガス削減のために、環境負荷低減商品を提案します。

生産に使用している有機溶剤糊を水性糊やホットメルト糊へ変更し、布とゴムを貼り合せする生産工程にて発生する VOC ガス（揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds）)の削減を推進しています。

また、靴の包装材削減など製品設計段階からも廃棄物の削減、使用抑制、エコ化に取り組んでいます。



・ 今期の取り組み

繰り返し可能なゴム部品を使用し、廃棄物を削減。

生産工程で余ったゴムの切れ端等を再び生産工程に投入し、再利用します。

ゴム部品は、様々な薬品等を混ぜ合わせて作られること。また保管状況・天候による自然加硫（スコーチ）等が発生しますので、どんなゴムでも再利用できるわけではありません。

ムーンスターでは、ゴム部品の適切な保管、及び再利用ができるゴム製品の開発に取り組んでいます。

(2)環境コミュニケーション

① 環境共生都市づくり協定書

久留米本社は、久留米市と『環境共生都市づくり協定書』を締結しています。環境負荷低減計画や排水、騒音の測定を定期的におこない久留米市へ結果を報告しています。

令和7年7月3日に、久留米市による工場排水の水質検査がありました。

結果は下記の通り問題はありませんでした。

項 目	基準値	第一工場の排水	第二工場の排水
水素イオン濃度(PH)	6.0～8.4	7.8	7.9
生物化学的酸素要求量(BOD)	10mg/L 以下	<0.5	3.6
浮遊物質質量(SS)	15mg/L 以下	1	11
油分(ノズル拭き出し抽出物質)	2.5mg/L 以下	<0.5	<0.5
大腸菌数	300CFU/mL 以下	<1	<1

② 環境管理委員会議

定期的に環境管理委員会を開催し環境目標の進捗状況、法的要求事項の順守報告、環境情報の確認をおこないました。

③ 環境通信の発行

環境活動に関する事、産業廃棄物に関する事、環境関連のニュース等を当社の社内 LAN に掲示して環境に関する情報を発信しています。

この活動は、2000 年 1 月から続けています。

④ 啓蒙活動

SDGs に合致する取り組みを看板にして工場内に掲示しています。

環境に関する社員の意識向上と工場見学に来られたお客様への説明を兼ねて作成しました。

ムーンスターの工場に来られた時は、SDGs の看板を探してみてください。



【当社不要ゴムは他社で再利用されています】



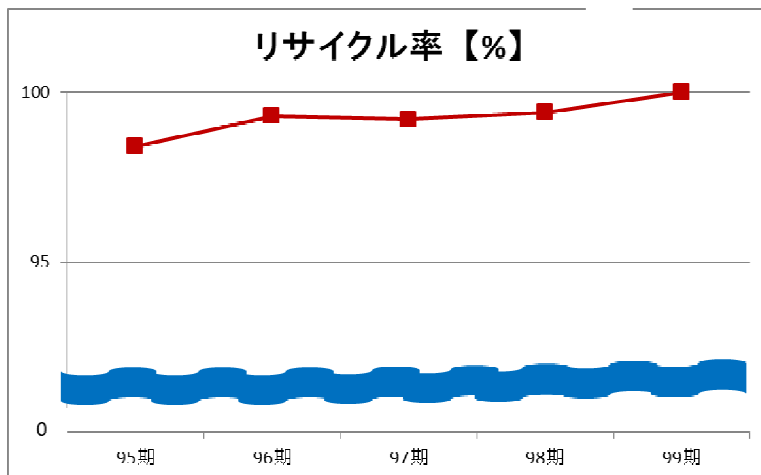
【トレーサビリティが構築されている天然ゴム】

(3) リサイクルの推進

持続可能な循環型社会の構築のために、3R(リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)) を推進しています。

今期(第99期)のリサイクル率は100%を達成いたしました。今後も最終埋め立て処分量をゼロとする“廃棄物ゼロエミッション”を継続していきます。

ムーンスターでは、リサイクル率99.5%以上をゼロエミッションと定義しています。



(4) 美化運動

①久留米本社では工場周辺道路の清掃活動を行っています。

②花いっぱい運動として工場内の空いたスペースに花を植えています。



第二事務所前の花

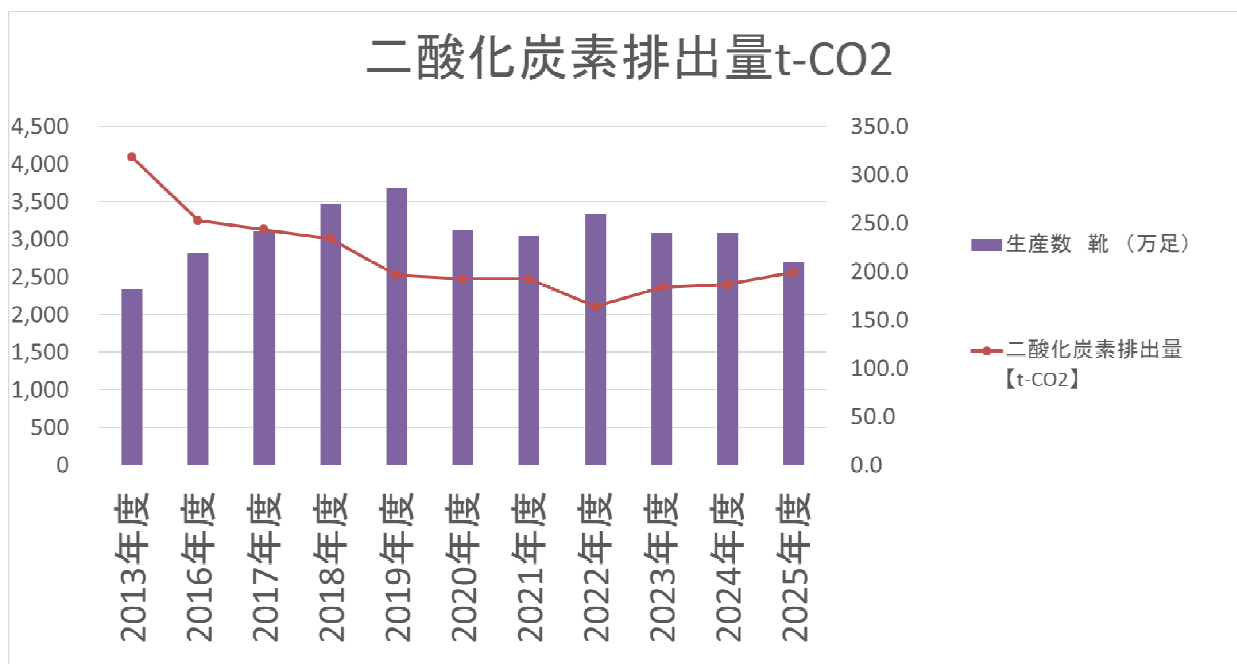
(5) 省エネ活動

未使用エリアの消灯活動、冷暖房の設定温度管理、省エネ機器への変更、生産の効率化によるエネルギー使用量の削減等をおこない、省エネ活動は全社員で取り組んでいます。



久留米工場の二酸化炭素排出量

日本の温室効果ガス削減目標は、2030年に2013年比で46%削減、2050年にカーボンニュートラルを2021年10月22日、地球温暖化対策計画で閣議決定されました。ムーンスターでは国の目標を達成するため、二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。



■今までの二酸化炭素排出量削減の実施策(一例)

- ・ エアコンプレッサーを重油式から電気式へ
- ・ ボイラーを重油式からガス式へ
- ・ 変圧設備を更新（高効率へ）
- ・ 大型空調機を小型インバータタイプへ
- ・ 冷房設備室外機への散水装置取り付け
- ・ 照明のLED化
- ・ クールビズ実施による室温管理徹底

(6)地域社会への貢献

- ① くるめ水の祭典「1万人のそろばん総踊り」へ約70名が参加。
- ② 筑後川河川美化「ノーポイ運動」へ12名が参加。河川敷の清掃活動実施。
- ③ 久留米市消防出初式へ7名が参加。うち、優良隊員として1名表彰
- ④ 日本列島グリーン作戦（都市部道路美化キャンペーン）参加。本町交差点周辺の清掃活動を行う。MSより15名参加

(7) 緊急事態への対応

久留米本社では、年3回(3月、8月、11月)消防総合訓練を実施しています。

自衛消防隊による消火訓練や全社員参加の避難訓練、通報訓練、新入社員への消火器の使い方の教育等をおこないました。

工場部門では、タンクから有機溶剤が漏れたという想定での緊急事態訓練を年1回実施しています。

2025年9月25日にタンクより有機溶剤が少量漏洩したという想定で緊急事態訓練のテストを実施。



株式会社ムーンスター

〒830-8622 福岡県久留米市白山町 60 番地

TEL : 0942-30-1111 FAX : 0942-30-1170